



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月7日

東

上場会社名 住友ベークライト株式会社 上場取引所
 コード番号 4203 URL http://www.sumibe.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 植田 毅 (TEL) 03 (5462) 4165
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	143,470	11.8	12,657	△7.4	12,482	△7.7	12,479	△10.6	9,230	△10.2
2022年3月期第2四半期	128,315	42.3	13,662	181.7	13,522	243.3	13,957	227.3	10,277	224.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	196.16	—
2022年3月期第2四半期	218.38	—

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	382,394	256,096	253,777	66.4
2022年3月期	370,836	232,136	229,784	62.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	10.2	28,500	7.6	21,000	14.8	446.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	49,590,478株	2022年3月期	49,590,478株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,535,320株	2022年3月期	2,534,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	47,055,385株	2022年3月期2Q	47,057,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な会計方針)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染影響からの回復が世界的にすすむ一方で、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や、中国のゼロコロナ政策堅持による行動制限の影響により中国国内での景気鈍化がみられました。また米国の政策金利上昇による日米金利差の拡大により、急速に円安・ドル高が進行しました。

このような情勢のもと、当社グループの売上収益は、円安為替評価による海外売上増加に加え、原料価格上昇に対応して製品価格改定を行った結果、前年同期と比べ11.8%増(以下の比率はこれに同じ)の1,434億70百万円となりました。損益につきましては、高機能プラスチックセグメントでの販売数量減による収益悪化が足かせとなり、事業利益は、7.4%減の126億57百万円、営業利益は、7.7%減の124億82百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、10.2%減の92億30百万円となりました。

(セグメント別販売状況)

① 半導体関連材料

[売上収益 41,840百万円(前年同期比 14.5%増)、事業利益 8,793百万円(同 8.2%増)]

主力の半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、前年度好調だったパソコンや中国製スマートフォンなど民生用の需要が反落し、在庫調整局面に入ったことから販売数量は若干減少しました。売上収益については原料価格上昇に伴う価格改定と円安影響により増加しました。

感光性ウェハーコート用液状樹脂は、主要用途であるメモリー需要が好調持続し売上収益は大幅に増加しました。

半導体用ダイボンディングペーストは、顧客での在庫調整により売上収益は前年同期並みで推移しました。

半導体パッケージ基板材料「LαZ®」シリーズは、中国市場のスマートフォン需要が低迷したことで売上収益は減少しました。

② 高機能プラスチック

[売上収益 50,817百万円(前年同期比 12.2%増)、事業利益 1,152百万円(同 65.3%減)]

工業用フェノール樹脂およびフェノール樹脂成形材料は、中国での新型コロナ感染再拡大による経済環境の悪化影響で電子・電機部品向けの販売数量が大幅に減少しました。自動車部品向けの販売も半導体不足による減産状況が解消されるまでに至っておらず販売数量は減少しました。原料価格上昇に対応して製品価格の改定に努めたこと、急速な円安が進行したことにより売上収益は増加しましたが、販売数量の減少分をカバーできず事業利益は前年同期を大きく下回りました。

銅張積層板は、車載向けの販売数量は減少しましたが、エアコン用、LED照明用基板の販売好調と円安効果により売上収益は増加しました。

航空機内装部品は、航空旅客輸送量の回復を背景に販売数量は増加しました。また、主要顧客が米国航空機メーカーのため、円安の影響を受けて売上収益は前年同期より大幅に増加しました。

③ クオリティオブライフ関連製品

[売上収益 50,474百万円(前年同期比 9.3%増)、事業利益 4,491百万円(同 14.6%増)]

医療機器製品は、国内市場向けは主力の生理食塩液の需要減で販売実績は前年同期並みでしたが、北米向けの採血キット、アジア向けの血液バッグなど輸出版売が好調なことに加え、北米の製造拠点での販売も好調に推移し売上収益は大幅に増加しました。バイオ関連製品は、一般バイオ器材に対する国内需要が一服しましたが、輸出は好調で売上収益は前年同期水準を維持しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途がジェネリック医薬品向けに好調を継続し、食品包装用途は肉製品用スキンパック向けの販売が好調で売上収益は増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、EV用絶縁材や車載用途など新規開発用途は順調に増加しましたが、基盤製品の店舗用サイン・ディスプレイ、建材用途は需要回復遅れにより売上収益は横ばいでした。

防水関連製品は、新築住宅向け屋根防水工事および蓄熱層断熱防水工事が好調を継続し売上収益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(2.1) 資産、負債および資本の状況

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ115億57百万円増加し、3,823億94百万円となりました。

主な増減は、棚卸資産および有形固定資産の増加と、現金及び現金同等物の減少であります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ124億3百万円減少し、1,262億98百万円となりました。

主な増減は、コマーシャル・ペーパーの償還による減少であります。

③資本の部

資本合計は、前連結会計年度末に比べ239億60百万円増加し、2,560億96百万円となりました。

主な増減は、四半期利益の計上および為替変動影響による増加と、配当金の支払による減少であります。

(2.2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金および現金同等物(以下、資金)は、前連結会計年度末に比べ90億80百万円減少し、1,001億37百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は102億77百万円となりました。

これは主に、税引前四半期利益および減価償却費の計上による収入と、棚卸資産の増加による支出の結果であります。前年同期と比べると41億35百万円の収入の減少となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は99億12百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出と、定期預金の預入による支出の結果であります。前年同期と比べると61億69百万円の支出の増加となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は193億35百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの償還による支出と、配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると84億66百万円の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	109,217	100,137
営業債権及びその他の債権	59,414	61,896
その他の金融資産	47	1,911
棚卸資産	50,276	59,568
その他の流動資産	4,337	3,880
流動資産合計	223,291	227,392
非流動資産		
有形固定資産	101,456	107,450
使用権資産	6,963	8,482
のれん	1,260	1,312
その他の無形資産	2,488	2,406
その他の金融資産	27,539	27,263
退職給付に係る資産	5,500	5,485
繰延税金資産	2,211	2,325
その他の非流動資産	128	279
非流動資産合計	147,546	155,002
資産合計	370,836	382,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	35,155	22,213
営業債務及びその他の債務	56,316	57,911
その他の金融負債	1,422	1,726
未払法人所得税等	3,241	2,533
引当金	200	171
その他の流動負債	776	833
流動負債合計	97,110	85,387
非流動負債		
借入金	23,467	21,865
その他の金融負債	3,578	4,532
退職給付に係る負債	4,148	4,394
引当金	1,235	1,308
繰延税金負債	8,592	8,280
その他の非流動負債	571	531
非流動負債合計	41,591	40,910
負債合計	138,701	126,298
資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,137	35,137
自己株式	△6,794	△6,797
その他の資本の構成要素	24,915	42,504
利益剰余金	139,383	145,790
親会社の所有者に帰属する持分合計	229,784	253,777
非支配持分	2,352	2,319
資本合計	232,136	256,096
負債及び資本合計	370,836	382,394

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	128,315	143,470
売上原価	△88,220	△102,502
売上総利益	40,096	40,967
販売費及び一般管理費	△26,433	△28,310
事業利益	13,662	12,657
その他の収益	64	116
その他の費用	△205	△291
営業利益	13,522	12,482
金融収益	596	833
金融費用	△160	△837
税引前四半期利益	13,957	12,479
法人所得税費用	△3,509	△3,056
四半期利益	10,448	9,422
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	10,277	9,230
非支配持分	171	192
四半期利益	10,448	9,422
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	218.38	196.16
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	10,448	9,422
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動額	△267	△984
確定給付制度の再測定	26	—
純損益に振替えられることのない項目合計	△241	△984
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	51	△6
在外営業活動体の換算差額	1,157	18,752
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	1,208	18,746
税引後その他の包括利益	967	17,762
四半期包括利益	11,415	27,185
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,180	26,819
非支配持分	235	365
四半期包括利益	11,415	27,185

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,785	124,052	10,431	—	△111	338	10,658	1,936	202,141
四半期利益	—	—	—	10,277	—	—	—	—	—	171	10,448
その他の包括利益	—	—	—	—	△267	19	51	1,100	903	64	967
四半期包括利益	—	—	—	10,277	△267	19	51	1,100	903	235	11,415
剰余金の配当	—	—	—	△2,118	—	—	—	—	—	△159	△2,276
自己株式の取得	—	—	△5	—	—	—	—	—	—	—	△5
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△102	121	△19	—	—	102	—	—
所有者との取引合計	—	—	△5	△2,219	121	△19	—	—	102	△159	△2,281
四半期末残高	37,143	35,137	△6,790	132,109	10,285	—	△60	1,439	11,663	2,013	211,276

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,794	139,383	9,852	—	△52	15,114	24,915	2,352	232,136
四半期利益	—	—	—	9,230	—	—	—	—	—	192	9,422
その他の包括利益	—	—	—	—	△984	—	△6	18,579	17,589	173	17,762
四半期包括利益	—	—	—	9,230	△984	—	△6	18,579	17,589	365	27,185
剰余金の配当	—	—	—	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,222
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	—	—	—	—	—	△3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引合計	—	—	△3	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,225
四半期末残高	37,143	35,137	△6,797	145,790	8,868	—	△57	33,694	42,504	2,319	256,096

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	13,957	12,479
減価償却費及び償却費	6,637	6,936
受取利息及び受取配当金	△486	△833
支払利息	160	156
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△3,326	30
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,228	△632
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,061	△5,771
その他	△138	204
小計	16,972	12,568
利息の受取額	168	421
配当金の受取額	309	611
利息の支払額	△163	△157
法人所得税の支払額	△2,874	△3,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,412	10,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,515	△7,861
有形固定資産の売却による収入	9	18
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	2,194	—
定期預金の預入による支出	—	△1,813
その他	△423	△248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,743	△9,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	57	△114
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	14,000	△13,000
長期借入金の返済による支出	△22,185	△2,504
リース負債の返済による支出	△459	△493
配当金の支払額	△2,118	△2,823
非支配持分への配当金の支払額	△159	△399
その他	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,869	△19,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	613	9,890
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	414	△9,080
現金及び現金同等物の期首残高	103,175	109,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	103,589	100,137

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、これらの事業セグメントを基礎に製品の市場における主要用途および事業の類似性を勘案し、「半導体関連材料」、「高機能プラスチック」、および「クオリティオブライフ関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品およびサービスの内容は次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品・医薬品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ関連製品

(2) セグメント収益および業績

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	36,530	45,304	46,181	300	128,315	—	128,315
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	68	0	—	68	△68	—
計	36,530	45,372	46,181	300	128,384	△68	128,315
セグメント損益 (事業利益) (注) 1	8,129	3,323	3,918	15	15,385	△1,722	13,662

(注) 1 セグメント損益（事業利益）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益（事業利益）の調整額△1,722百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,722百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	41,840	50,817	50,474	339	143,470	—	143,470
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	75	0	—	75	△75	—
計	41,840	50,892	50,474	339	143,545	△75	143,470
セグメント損益 (事業利益)(注)1	8,793	1,152	4,491	88	14,524	△1,867	12,657

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△1,867百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,866百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
セグメント損益	13,662	12,657
その他の収益	64	116
その他の費用	△205	△291
営業利益	13,522	12,482
金融収益	596	833
金融費用	△160	△837
税引前四半期利益	13,957	12,479